令和6年度第2回彦根市廃棄物減量等推進審議会の概要

日時:令和6年(2024年)10月30日(水)13時30分から15時30分まで

場所:彦根市役所本庁舎 5階 会議室 5-1、5-2

会議内容

●令和5年度 of 取組状況について

冊子「『彦根市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画』に基づく令和5年度 of 取組状況について(案)」の内容について事務局から説明後、委員からの質疑応答、意見交換

委員からの主な意見

●水切り器 of アンケート結果概要について、回答数が配布数 of 約半数であったが、これをもって、概ね好評と結論づけてよいのか。

●取組結果 of 数値について、例えば、イベント等への出展、啓発パネル設置、出前講座等 of 実施回数として、複数の項目をまとめて記載しているものがあり、取組 of 効果 of 検証が難しい。数字として出せるものについては、項目別に記載していただきたい。

●市内にはペットボトルキャップを回収している小学校があり、子どもたちやその家族が取り組むことで、分別への意識向上につながる。回収していない小学校に呼びかけ、取組を促進してほしい。

●将来的な本市におけるし尿 of 処理方法を、今後、検討していくにあたり、バイオガス発電 of 可能性についても、民間企業 of 施設を視察するなど、研究していただきたい。

●雑がみや容器包装プラスチック等 of 分別や資源化について、まだまだ知らない市民が多い。広報ひこねへの掲載やチラシ of 配布だけでなく、市民 of 集まる場等で直接伝える形 of 周知、啓発も行ってほしい。

●雑がみを分別しようとしても、それを入れる袋がなければ、結局、燃やすごみに出してしまうことにつながりかねないので、費用対効果 of 観点もあると思うが、雑がみ分別保管袋 of 多くの作製を検討してほしい。

●ごみ of 指定専用袋へのひこにゃんイラストを使用した水キリの啓発について、デザインを少しずつ変更して、雑がみ of 分別等 of 他 of 啓発にも利用してはどうか。

⊕燃やすごみとして焼却処理されているプラスチックのうち、ごみの指定専用袋の割合が多くを占めていると思われる。資源米を使用したライスレジン製のごみの指定専用袋を使用することにより、プラスチックごみの削減や焼却炉における燃焼カロリーの低減を図ってはどうか。

⊕分別や資源化の啓発にあたっては、市民が楽しみながら学んでもらえるような内容となるよう手法を検討してほしい。また、市内の環境団体や大学生との協働による実施も検討してはどうか。

⊕資料のまとめ方について、主な取組状況を中心に記載することで見やすくなったものの、網羅性としては不足しているように感じるので、記載方法を工夫していただきたい。